



# つるだ

さつま町立鶴田小学校  
学校便り 第7号  
R6.11.26発行

## 親子のふれあい

校長 田畑悦郎

私が鶴田小に赴任して感じたのは、放課後や休みの日に、子どもたちがおうちの人と一緒に活動しているのを、多く見かけることです。例えば…。



- ◇ 親子でスポーツ（校庭等で、野球，サッカー，ジョギング，縄跳び，etc…）
- ◇ 親子でウォーキング・お散歩・近くのお店へ歩いてお買い物
- ◇ 子どもが遊ぶ様子を，親が近くでしっかり見守り
- ◇ 親子で，地域行事に参加

そんな時は、親子そろって笑顔があります。歩きながら、あるいは活動しながら親子の楽しい会話・対話がきっとあるのでしょう。便利な世の中になり、最近はゲームや動画サイトが子守りをしてくれているという話も聞きます。そんな中であって親子で会話をしたり行動を共にしたりすることは、子どもにとって他人にも心を開き、信頼できるようになる契機ともなります。

きっと鶴田小の保護者の皆様も、幼少の頃同じ体験をされているのでしょうね。祖父母の皆様にも感謝します！

### 10月のいじめアンケート

10月も1件もありませんでしたが、今後も、しっかりと見守りを続けます。

## 小学校・校区合同大運動会

天候にも恵まれ、10月20日に無事開催することができました。子どもたちも大活躍しましたが、保護者や地域の皆様が大いに盛り上げてくださるとともに、準備や後始末でもたいへんご協力いただきました。この場を借りてお礼申し上げます。ありがとうございました。



## 不審者対策・かけこみ訓練

10月30日に、さつま警察署生活安全刑事課の方や、校区内の子ども110番の家の方などのご協力をいただきながら行いました。

学校に不審者が現れた時に行う暗号放送を聞いた子どもたちは、まるで自分たちの気配を消しているかのような、見事な避難ぶりでした。また、登下校中などに不審者に遭遇したときの対処の仕方や、子ども110番の家へかけこんだ時に、どんなことを話せばいいのかを、疑似体験しました。

鶴田小学校校区は、国道267号線沿いがあることから、今回学習したことを、今後も折に触れて繰り返し指導していきます。



CS

コミュニティ・スクール

# TSURUDA

発行先 さつま町立鶴田小学校運営協議会

## 県民週間・11月：CSの日（学校開放の日）

11月1日(金)～11月8日(金)は県民週間, 11月9日(土)はCSの日(学校開放日)でした。県民週間の期間で, 3～5年生は3地区の高齢者クラブの方々とグラウンドゴルフをしたり, 1・2年生は, 祖父母と昔遊びをしたりして楽しい時間を過ごすことができました。高齢者の方は「子ども達から元気をもらった。来年もお願いします。」と笑顔で帰られました。地域の方々に鶴田っ子を知ってもらういい機会になりました。また, 6年生は, 川内川の分水路見等を見学し, 役場の方から『災害を通して何を学び, どう復興したか』教えてもらいました。



県民週間, CSの日は, 校区以外の方々も参観され, 子ども達の様子を見ていただきました。9月から始めた「子ども達のがんばり」コーナーやアンケートに今回も様々な意見やお褒めの言葉をいただきました。子ども達にどんどん紹介し, 自己肯定感を育てていこうと思っています。

～県民週間期間のアンケート・お褒めの言葉(一例)～

- あいさつの声が元気よく, すばらしい。学習に向かう姿勢も前向きである。
- 授業の始まりの準備がさっとできていてすばらしいです。
- 授業に対して一生懸命で, 学び合いの時間も合ってよかった。

CS TSURUDA

## 第3回学校運営協議会

11月14日(木)に学校運営協議会が行われました。

今回は, 前半で4～6年生と給食を一緒に食べて, 交流していただきました。後半は, 「学校と地域で一緒にできることはないか」という議題のもと, 熟議(話し合い)を行いました。実現可能かどうかはさておき, こんなことができるかという視点で意見交流をしました。右にあるように様々な考えが出されました。

引き続き, 熟議を重ね, 地域と学校の絆が深まるような取組を考えていきたいと思っています。



校区も一緒に児童と花を育て, 花壇コンクールに参加してはどうか。

学校と校区合同の避難訓練や防災についての学びはできないか。

鶴田ダムについて学びを深め, 説明ガイドを子ども達にさせたらどうか。

児童や校区の方に地域の文化財について学ぶ機会を計画できないか。

鶴田小出身の中学生に中学校の話をしてもらえば, 6年生も安心するのではないか。

委員による熟議の様子と出された意見